

# 遠洋かつお一本釣り漁業(焼津)プロジェクト もうかる漁業創設支援事業実証結果報告

【事業実施者: 日本かつお・まぐろ漁業協同組合】

実証期間: 平成22年9月1日～平成24年8月31日

遠洋かつお一本釣り漁業の経営の安定的継続のため、低コスト・高生産型経営形態の確立に向け省エネ装置導入による生産コストの削減、脱血カツオ生産等による生産額向上等からなる構造改革に流通加工等関連産業と一体となり取り組み、もって本漁業の収益性を回復することをねらいとする実証事業を行った。

## 実証項目

### 【生産に関する事項】

- ①生産コストの削減
  - ・インバーターの設置の設置による燃油使用料の削減
  - ・インマルサットフリートブロードバンドの導入による通信費の削減

### 【流通・販売に関する事項】

- ①生産金額向上
  - ・活け脱血カツオの生産による高付加価値化



## 実証結果

### 【生産に関する事項】

- ①生産コスト削減に関して、(a)実証船の活餌用冷却水システムのポンプ及びスクリー冷却機にインバーターを設置し、ポンプの回転数と流量の適正な制御に努めた結果、年間燃油使用量は、同規模当業船に比べて1年目が89.4%、2年目が87.2%と、燃油消費量10%削減を達成し、当該インバーター導入効果が実証された。  
(b)インマルサットフリートブロードバンドを設置し通信費の削減を目指したものの、実証期間における漁場形成が疎らで定まらなかったことにより、僚船の通信費と比較して1年目は4%減、2年目は9%減であり、期待したような削減効果は検証できなかった。

### 【流通・販売に関する事項】

- ①実証船に活け脱血装置を導入し、南方操業において脱血カツオを1年目97トン、2年目143トン、計240トンを生産し、水揚げ金額71,794千円を得た。平均販売価格は299円/kgで、本船の南方操業のB1カツオの平均販売価格の250円/kgを上回り、南方操業における脱血カツオ生産が生産金額向上に有効であることを確認した。ただし、当該装置導入の収益性の評価に関しては、今後、運転に係る経費等を含め継続して調査し、検討することが必要である。

## 収益性の改善について

上記のとおり、実証項目については一定の成果を得た。他方、償却前利益は、修繕費が当初計画を大幅に上回ったこともあり、改革計画の目標値を下回った。反面このことにより当該船の整備が大幅に進捗したことから、修繕費は実証事業終了後従前のレベルに戻る可能性が高い。今後引き続き導入したこれらの装置の運用の習熟を進め、一層の生産コストの削減と漁獲物の付加価値向上を図り、当該構造改革による収益性の回復に努める必要がある。